

いいんざい

広報

2.1

No. 680
平成23年
(2011)

■毎月2回 1日・15日発行
■発行 印西市 ■編集 秘書広報課広報広聴班
■〒270-1396 千葉県印西市大森2364-2
☎0476-5111(代) FAX0476-7242
■ホームページアドレス <http://www.city.inzai.chiba.jp/>
■電子メールアドレス home@ml.city.inzai.chiba.jp

- 主** ◆印西市地域公共交通総合連携計
な 画(素案)に対する意見を公募 …2
内 ◆平成23年度自転車駐車場
容 定期使用申請の受け付け…2
◆市民税・県民税と所得税の申告…3



◀松山下公園総合体育館で盛大に
行われた、合併後初の消防出初式



▶総勢500人を超える消防署
員・消防団員の糸乱れぬ
整列

式典では、市内外の来賓や消防関係者などの臨席のもと、市長、消防長、団長以下500人を超える署員・団員が会場に集まり、消防旗・団旗入場につき、市長式辞、消防長訓示、消防団長訓示を受け、通常点検が厳かに行われました。

また、消防活動に尽力された功績により217人と4団体を表彰、また全国消防操法大会の出場に当たり、操法指導に尽力された指導教官4人に、感謝状が贈呈されました。

【千葉県知事表彰】
▼功労章6人
▼精勤章19人
【千葉県消防協会会長表彰】
▼功労章4人
▼精勤章11人
【千葉県消防対策監表彰】
▼消防対策監章15人
【千葉県消防協会印旛支部長表彰】
▼功労章15人
▼勤続章10人
▼精勤章24人
【印西市長表彰】

地域防災を担う責任を新たに

平成23年印西市消防出初式

合併後初の「印西市消防出初式」が、1月8日に松山下公園総合体育館で行われました。現在の消防体制は、市内3消防署(印西、印西西、印旛)・2分署(牧の原、本埜)と消防団員3支団(印西、印旛、本埜)722人の構成となり、地域防災の第一線で活動しています。出初式では、岩井団長より命下された川上印西支団長が総指揮者を務め、総指揮者の号令のもと、一糸乱れぬ行動により式典が進められました。

▼功労章4部
▼精勤章103人
【印西市長・消防団長表彰】
▼印西市長・消防団長章10人
(小林小学校少年消防隊)
▼印西市長・消防団長感謝状4人
※表彰受賞者および表彰受賞団体については、市ホームページ(トップページ)くらすく防災↓平成23年印西市消防出初式)に掲載。

地域を守る

消防団の仕事

消防団員は、普段はそれぞれ自分の職業を持っている地域のみなさんが「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神に基づき、消防団に入団している非常勤特別職の地方公務員であり、常勤の地方公務員として専門的に消防活動などに従事する消防職員とは、身分が異なります。消防団の仕事は、市民を火



印旛支部消防操法大会に出場し、印西市長表彰を受けた各分団の代表

コスモス新体操クラブ

松山下公園総合体育館で演技発表会

市内の新体操クラブ「コスモス新体操クラブ」主催による印西市合併記念「コスモス新体操クラブ新体操演技発表会」が、去る12月26日に松山下公園総合体育館で行われ、妖精のタマゴたちの華麗な演技が、多くの観客の目を引きつけました。

また、特別招待選手として、2010世界選手権日本代表選手の山口留奈選手や飛行船新体操クラブ、君津新体操クラブも参加。美しく力強い演技を披露し、会場を沸かせました。



▲大会では個人・団体の演技が行われました

消防団員を募集

市では、消防団員を募集し

災などの災害から守ることはもちろん、地震や風水害などの大規模災害が発生した際にも活動に当たります。また、災害以外の時でも、地域に密着したきめ細やかな火災予防活動や住民に対する啓発活動など幅広い分野で活躍し、地域の消防防災リーダーとして重要な役割を果たしています。

印西市議会議員一般選挙の 立候補予定者説明会

平成23年4月29日任期満了に伴う印西市議会議員一般選挙の立候補予定者説明会を次のとおり開催します。

※予定者一人に対し3人以内で出席してください。

◎日時：2月18日(金)・午前9時30分。

◎会場：市役所3階大会議室。

◎選挙管理委員会(☎内線41・442)。



ています。災害時には地域の実情に精通した人たちの力が、必要で、消防団はいざという時に期待が寄せられています。また、女性団員は特に広報活動など期待されています。詳しくは、左記までお問い合わせください。
☎防災課防災班(☎内線453)。

はっけよい!のこった!

原山小で「健やか相撲大会」

去る12月20日、原山小と内野小の4～6年の男子児童による「健やか相撲大会」が開催されました。

同校の校庭には、天井付きの土俵があり「これを活用した相撲大会を…」と、原山小が企画を行い、内野小が応じたことがきっかけになりました。当日は寒風の中、



上半身はだかにまわしを付けた少年たちが真剣勝負を展開。中には負けて悔し涙をにじませる子も。

見守る児童や保護者からも惜しめない声援が寄せられ、大盛況の大会となりました。